

<h1>第 337 回 月例会議事録</h1>	安全技術応用研究会	
	承認	確認
	企画運営委員長 西山	企画運営委員 保科

- ◎ 日 時 2021年10月15日（金）13時00分～16時30分
- ◎ 場 所 リモート開催（Zoom）
- ◎ 出席者 26名

1. 企画運営委員長 挨拶 13:00～13:05

主な内容：安応研の2021年上期の活動状況を報告した。

2. 336回月例会議題「危険源同定を題材にしたグループ討議の結果について」

13:05～13:30 企画運営委員会 西山政則 氏

先月、初めて開催した危険源同定を題材にしたグループ討議では、短い時間ながら活発な意見交換が行われた。危険源同定はリスクアセスメントを実施する人のスキルに依存しているということが、討議を行った4つのグループの共通認識であった。関連して、過去に実施したリスクアセスメントのスキルについての調査結果を紹介した。

意見交換

なし。

3. IMS 委員会活動報告

13:30～14:00 IMS 委員会 今枝幸博 氏

2019年度9月からメンバー5名で活動を開始したIMS委員会は、コロナ禍による1年以上の中断を経て、半分のメンバーを入れ替え、2021年5月から活動を再開した。IMS構築の経験を持つ各メンバーの考え方を新たに加え、「運転モード」、「インターロック」、「タスク・ゾーニング」という3つの論点で進めている。成果を安全要求仕様書へ統合すること目標とし、2022年3月に最終報告をとりまとめる。

意見交換

MBSEなど新しいツールの活用、制御要素の繋がり、従来活動（例：機能安全活用実践マニュアル・統合生産システム編）との差別化、などを意見交換した。

4. 報告テーマ「最新の国際安全規格の動向について」－資料非公開

14:00～15:10 TUV ライフランド・ジャパン 杉田吉広 氏

半年に一度の頻度で実施している定例報告で、ISO・IEC など国際安全規格の制定・改定の動向について、各規格団体の委員会やWGの活動状況を交えて報告した。

意見交換

IEC・ACOS の組織・活動、IEC 規格の階層構造、IEC 62998 システム設計ガイド、IEC の情報セキュリティおよび ISO 14120-2 の JIS 化、IEC 61508 の位置付け、ISO 13851 の変更点、などを意見交換した。

5. 安全工学基礎講座第2回「ISO 12100 (JIS B9700)を読み直してみよう」

15:20～16:30 企画運営委員会 福田隆文 氏

今一度、基本規格の内容を確認することが必要である。そこで、ISO 12100 と ISO/IEC Guide 51 “リスクアセスメントとリスク低減方策”との関係を示しながら、ISO 12100 設計におけるリスクアセスメントとリスク低減の目的・方法などを説明した。

意見交換

リスクと危険状態、ISO/IEC Guide51 の適用対象、事故責任と安全確認型システム、安応研の設立経緯、などを意見交換した。

6. その他

- ・会員からの意見や助言を活用するため、アンケートへの協力をお願いする。
- ・次回 338 回月例会は、11 月 19 日（金）13 時～16 時 30 分にリモートで開催。

月例会説明資料：会員専用ページに掲載

資料番号	資料名
336-5-1	安全工学基礎講座「ISO 12100 (JIS B9700)を読み直してみよう」

以上